R5.12.5（火）

１２月お話朝会

いじめのない学校～人権週間に寄せて～

みなさん、おはようございます。

いよいよ１２月となりました。２学期のまとめの月となります。学校へ来る日もあと１３日です。

今週は持久走記録会が各学年で実施されます。音楽会が終わってから、体育の時間や業間マラソンなどで練習を積み重ねてきました。みなさんが、お互いを励まし合っている声がグランドにたくさん響いていました。素晴らしい学校だなとつくづく思いました。本番の記録会では、体調には十分に気をつけて、練習の成果が発揮できるよう期待しています。

さて、１２月４日から１０日までは人権週間です。人は誰でも楽しく幸せに生きる権利を持っています。誰かに馬鹿にされたり、いじめられたり、ひどい目に遭わされたりするということがあってはなりません。

みなさんに分かりやすく言えば「人権とはいじわるやいじめをしない、それを見過ごさない学校にする　思いやりのある学校にする」ということです。

いじめにはぶったり、蹴ったりというような暴力をふるうもの、悪口を言われるもの、いやなことを命令されるもの、無視されるものなどがあります。今はインターネットやＳＮＳによるものもあります。

学校でも家もテレビでも「いじめは絶対にいけません」と言われていますね。でも、この「いじめ」はなくなりません。なぜなのでしょうか？

誰の心の中にも「自分だけ良ければいい」「自分より弱いものに対して威張ってみたい」という弱い心やずるい心があるものです。そういうダメな心に負けてしまったときにいじめも起こると思います。

また、いじめている本人が「自分はいじめをしている」と考えていなく「ふざけているだけ、一緒に遊んでいるだけ」と思っている場合があります。

誰かに、いやなことをされたり、言われたりするときには「やめて」とはっきり言うことも大切です。自分の気持ちをしっかり相手に伝えるということはとても大切なことです。

また、言葉は大切に使って欲しいです。「キモい」「消えろ」「うざい」こんな言葉は藤久保小学校から無くしましょう。

特に「死ね」や「死ぬ」という言葉は人に向かって言うだけでなく自分自身にも絶対に使ってはいけない言葉です。

藤久保小学校が目指しているのは「やさしく　かしこく　つよい子」です。いじめがあっては、「やさしい子」にはなれません。

思いやりも一方通行ではいけません。友達を大切にできる人は友達からも大切にしてもらえます。

人権週間をきっかけに、相手の気持ちを考え、暖かな言葉や行動を心がけてください。２学期の最後、気持ちを引き締めて過ごし、良い冬休みを迎えられるようにしましょう。